

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 5月 15日

事業所名 ぼの・テラス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
体制	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		静と動の活動スペースを分けている	
	2	職員の配置数は適切である	5			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1		危険を伴う構造に関しては対策を講じています。生活上必要な訓練としての見極めを行いながら、今後も引き続き利用児童に応じた配慮を講じていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			清潔感と共に、感性豊かに過ごせる環境づくりも重要だと考えています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2	職員会議の実施	個々の面談等を通して業務改善について聞き取りをして業務改善に努めていきたいと思っております
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			内部評価と合わせて、貴重な意見として今後の業務改善に努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		開所して初年度の自己評価となる為今後行ないたいと思っております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		今後外部評価を取り入れ、適切に業務改善に努めていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	オンライン研修の取り入れ	公的な研修を含め、事業所内定期研修の機会を確保していきます。
支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		職員みんなで意見を出し合っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	利用児童を考えて活動を考えている	今後更に細かな活動プログラムを工夫していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	5		個別や集団での活動を組んでいる	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		送迎等もあり、早急な場合を除いては翌日に振り返りを行なっている。共有の手段として、並行して申し送り簿を今以上に有効活用していきたいと考えています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	必要に応じて連携している	今後も情報収集を目的とした連携と共に、必要に応じた連携を行なっていきます。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5	対象児がいない	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5	対象児がいない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		担当者会議や保護者を通じて情報共有を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		担当者会議や保護者を通じて情報共有を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		今後は積極的にそのような機会を設けるようにしたいと考えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		今後は積極的にそのような機会を設けるようにしたいと考えています。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		今後は積極的にそのような機会を設けるようにしたいと考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
の説明	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		5		今後は積極的にそのような機会を設けたいと考えています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2	所内での相談や家庭連携の実施	研修や経験を重ね、充実した対応が成される様努めていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		今後は定期的に保護者や職員が充実する意見交換の場となる企画を行なっていきたいと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			常に寄り添う立場として対応していけるよう努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	ハロウィンやクリスマス等季節のイベントを地域の方と一緒にパーティーを実施	前年度、企画を実行に移すことができませんでしたが、今年度は是非実行できるようにしていきたいです。
時等の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2		前年度、「感染症対策」「ヒヤリハット勉強会」等を実施。日々の業務の振り返りや改善に生かしています。今後はHPや事業所発刊紙を通じて保護者への周知もしっかりと行っていきたいと思っております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	3		今後は消防等の専門家を交え、定期的に行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1		基本情報として把握しておりますので、非常時の対応として今後しっかり対策を行ってまいります。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		基本情報として把握しておりますので、引き続き入念な対応ができるよう努めてまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	3		事例を参考に実質的な研修の機会を設けていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		5	対象児がいない	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。